

「私のコンサル失敗談」

私は、ISOコンサルをはじめて1年目の夏、東北の45人のメーカーから依頼を受けて、コンサルをスタートした。

指導が始まって、5ヶ月目、現場展開をスタートして、1ヶ月が経つた頃、突然村川社長から、申し出があった。

社長「先生、コンサルを中止してくれませんか？」 私は、面食らった。それまで、順調にすすんでいたのに、訳がわからなかった。

毎回のプロジェクトは、熱心な意見が続出し、いつも一時間予定をオーバーしていた。私は、新幹線の時間を気にしながら、意見のまとめをしていた。

私 「どうかしたんですか？」と、連れて行かれた居酒屋で切り出した。

社長「順調にいらしていると思ったのですが、実は、現場でISOを実行していないのがわかったのです」

私 「えー？全然、ですか？」

社長「実は、殆どの従業員が、ISOのルールには従っているのですが、その記録がないんです。」

私 「それは、困ります。ISOは記録(証拠)がないと、審査通りませんから」

社長「各職場のリーダーを信頼していたので、私もショックです。」

社長が説明している間、私は、ビールにも料理にも手をつける気にならなかった。

「中止する、しない」、の議論で20分が過ぎた。さらに、沈黙が10分続いた。

じっと考えた挙句、私「なぜ、現場の人はルール通りやらないのでしょうか？」

社長「仕事がやりにくいとか、残業が増えるとか？」とリーダーから聞いています。

私「問題は評価ですね？」

社長 「はー？まあそういう言い方もできますが？..」

私 「じゃ、こうしましょう。ISOを実施することで、発生した残業は業務と見做すという事では？」、

社長 「でも、結構な金額になるかもしれないし？」

私はやや興奮して「社長！改善を進めるのがISOです。今、一時的に残業代がでて、1年後にはそれを上回る改善が、期待できますよ。」

社長 「..でも??」 と口ごもる。 しばらくして、

私 「その残業代の半分を、もし1年後に成果が出なければ、私がコンサル料から戻しますよ。」

社長 「そんな事は絶対にできませんよ。だめです。うちの問題ですから」

結局、その日は結論の出ないまま、そのまま別れた。

「出費と成果」

ISOに取り組む小企業は、シビアな状況で取得を決意する。

投資(出費)を上回る成果..これがなければ、長期的にISOに取り組む意義は薄い。

私は、1週間この問題を、仕事をしながら毎日考え続けた。

そして、社長にある解決案を提案した。 それは..

社長と全社員が一同に集まって

1. 全員で、もう一度「なぜISOに取り組むのか？」について、徹底討論する。
2. そして、当社がISOによって、どうしたら、改善ができるのか？を列挙し、

- 誰が中心になって進めるかを、明確にする。
3. これが、不可能なら、ISOを中止する。これが可能なら、ISOに依る残業代は、半年に限りみとめる。
 4. また、職場ですぐれた改善があった場合は、特別手当を支給する。

社長は諒承し、全社員会議は開催された。

ところが、会議で分かった事は、思わぬ事だった。

それは、会社がISOに取り組むのは、改善というのは表面の理由で、「実は、業務の合理化をはかり、リストラをする為だ」という噂を誰かが吹き込んでいた事がわかった。

この地域では、この時期中小企業もリストラばやりで、そう考えるのも不思議はないが、とんでもない“誤解”だった。

結局、誤解は解け、ISOの為の残業代も「口実」だとわかった。

翌月、コンサル再開。 4ヶ月後無事 ISOを認証した。

今この会社は順調に拡大。来年は工場の増設も計画中だという。

この一件で私は、大きな教訓を学んだ。それは、ISOを「理解」してもらう事より、

「我社は何のために、ISOに取り組むのか？」をしっかりと理解してもらうことこそ、ISO取得の大前提という事を。

いまでは、この事をどこの会社の「キックオフ大会」で、必ずしっかり説明する。・
……今でも、東北方面に行く時、この会社のことをよく思い出す。

さあ、「わたしのコンサル失敗談」如何でしたか？小企業のISO取得には、しばしば“アクシデント”が起こります。しかし、状況を冷静に受け止め考えうる最善の解決策

を求め、全力で「チャレンジ」するのが、我々コンサルタントの使命だと覚悟しています。

また、「アクシデント」があった企業こそ、たくさんの“教訓”=今後の貴重なノウハウを与えてくれます。

しかし、こうした事にならないよう、我々は、万全の「サポート体制」を用意しました。

それは、1、小企業のための「お助け<SOS>サービス」であり、
2、ISO取得のための「7大特典サービス」です。

いづれも、H. Pの中に、詳しい説明があります。
いますぐクリックして、確認して下さい！